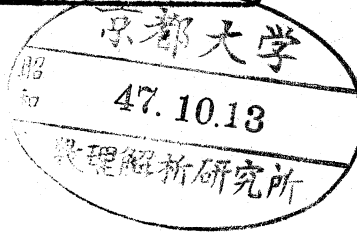
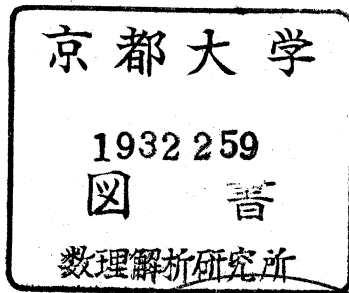


K-510

数理解析研究所講究録 157

0
45
4

解析的整数論の話題



京都大学数理解析研究所

1972年8月

解析的整数論の話題

研究集会報告集

1972年5月15日書17日

目次



1. 序文	1
2. A Refinement to a Theorem of Davenport and Lewis.	2
名大理 中井喜信	
3. A remark on ∞ -distributed sequences	6
統計数理解研 長坂健二	
4. 楯円曲線の conductor	19
名大理 碓野敏博	
5. あるディリクレ級数について	29
近大工 竹内文彦	
6. van der Corput の lemma の応用について	42
信州大理 鹿野健	
7. ノルム形式の整数解について	52
都立大理 藤原正彦	
8. 多項式の power-free な値について	56
岡山大 理 内山三郎	

序 文

数論の解析的理論は、かなり広い範囲の問題(数論の)を含んでいる。ちょっと名前を挙げてみても、

1. ゼータ函数の零点の問題 (Riemann 予想, etc.),
2. 加法的数論 (Waring, Goldbach の問題, etc.),
3. テオファントス近似論 (数の近似論, 超越数論 etc.),
4. 確率論的数論 (加法数論への応用, 数論的函数の研究への応用 etc.),
5. 一様分布論 (Weyl の一様分布, Fourier 解析の応用, etc.) .

などなど、多くの興味ある分野がある。

我々一同が(約10名)それぞれこの報告で述べようとする話題も、これらの一部であり、各人の興味が互に同じではない事はこの分野の多様性を示すものではないでしょうか。